

国立研究開発法人国立がん研究センター理事会（平成30年度第12回）議事概要

日 時：平成31年3月29日（金）10:00～11:45

場 所：国立がん研究センター 管理棟 第1会議室

出席者：中釜斉理事長、南砂理事、児玉安司理事、松本洋一郎理事、間野博行理事、小野高史監事、増田正志監事

欠席者：北川雄光理事

I. 前回（平成30年度第11回）議事録の確認

- ・前回議事録について了承。
- ・議事録署名人を松本理事と小野監事に依頼。

II. 審議事項

1. 平成31年度計画（案）の策定について

資料に沿って説明され、計画案が了承された。

【主な意見等】

- ・非常にアクティブな計画だが、研究開発の推進と基盤整備については、全体の整合という観点が必要。機器開発の基盤の構築については、連携しながら進めて行くことが非常に重要。人材育成については、新たな専門医制度への適切な対応を推進していただきたい。6NCの連携強化、横断的な研究組織については、NC間だけでなく、その他の機関との連携も含め考えていただければと思う。
- ・人材育成に加えて、人材確保ができないと研究開発の色々なものの実施が困難になる。研究開発を支えるロジスティクスが同じように高度化し、専門化していかないと実施が困難になる。この部分をどうやってクリアしていくかが、計画達成に必要な要素になると思う。
- ・計画案については細かな文言に関し若干の修正が入ると思うが、この方向で進めさせていただきたい。

2. 労働時間法制への対応について

資料に沿って説明され、審議された。

III. 報告事項

1. ゲノム医療をめぐる動き

資料に沿って報告された。

【主な意見等】

- ・ゲノム医療については、C-CATをつくった以上、是非、これだけは絶対やるという目標に光をあてていただきたい。医療現場の負担はもちろん多くないようにと思うけれども、研究のところが出来なかったら困る。国民の期待を背負っているので、

何のためにC-CATをつくってこういう体制をとるのかということを経験現場の先生方や患者様に納得していただき、目標を達成するためにどうしたらいいのかということを示していただきたい。

2. B型肝炎ウイルスによる新たな発がんメカニズムを発見
資料に沿って報告された。

3. 政府の会議の状況等
資料に沿って報告された。

4. 広報実績
資料に沿って報告された。

5. 投資委員会報告
資料に沿って報告された。

6. 2月分月次決算等
資料に沿って報告された。

7. 平成30年度の動きと総括
資料に沿って報告された。